



密室での審査はこうしてねじ曲げられた！
小沢一郎裁判の原点・西松建設事件の審査を担当した
検察審査会メンバーの告白

今西憲之 (ジャーナリスト)

G2 » Vol.10 » 検察審査会メンバーの告白 » 第3回 » 1

第3回

特捜検事の説明

分厚い資料を、悪戦苦闘して読み込んでみると、午前11時になって、事件の捜査を担当した検事が審査会に説明にやってきた。東京地検特捜部の木村匡良検事である。西松建設事件と陸山会事件、どちらも捜査の指揮を執った。

木村検事は大柄で、強面だった。

「小沢さんに似たごっつい印象の方でした」(Aさん)

木村検事の説明は、1時間が予定されていた。最初の15分ほど不起訴の理由の説明をした。

「捜査は適正に行われた。きちんと尽くしたが、起訴できなかった」

淡々と、そんな説明に終始した。

だが、供述調書を読んだ審査員の中では、本当に捜査が尽くされたのか疑問を持つ空気があったという。すでに他方の小沢ルートは立件され、元秘書である大久保被告が起訴されていたことは誰もが知っていた。なぜ二階ルートは駄目なのか。

木村検事はこう説明した。小沢ルートの場合、西松建設のダミー政治団体から直接、政治献金として現金がきている。ところが、二階ルートでは、パーティ券の購入が焦点になっており、直接的な現金の授受ではないことが、起訴に至らなかった理由の一つだというのだ。

木村検事は、同じ西松建設元社長が、小沢ルートでは起訴だったのに、二階ルートにおいて起訴猶予とした意味は、あくまで「犯罪の事実はあるが、起訴するほどの必要性がない」ことであると強調した。

質疑に入ると、同じ点に質問が集中したという。

「捜査は尽くされたのか」

そう質問されると、木村検事は、

「国沢を起訴できるだけの材料はある。しかし、国沢はすでに小沢ルートで起訴されており、二階ルートで起訴したところで、量刑に影響しない」

「国沢を起訴すると、裁判所に来てもらうことで負担もかかる」

と、国沢元社長と検察の間で「裏取引」でもあるかのような話までしたというのだ。

2 >>

ログインしてください

G2サイトは会員登録(無料)をしていただくと、記事の全文をご覧いただけます。会員の方はログインしてください。

[会員登録の変更、退会等についてはこちら](#)

国際ニュースのセレクトショップ

国際ニュースのセレクトショップ

クーリエ・ジャポン
NOV / 2012
Vol. 096
定価780円

11

こうすれば、
きっと「社会」は
変えられる!

ウェブサイトで
情報配信中!
CLICK!!

新Webメディア発刊!

現代ビジネス

政治、経済がわかると成功が見えてくる。

G2 電子版を今すぐ試し読み

G2 電子版の紹介はこちら

G2 iPhone/iPad版はこちら

プロフィール



今西憲之
Noriyuki Imanishi
ジャーナリスト

1966年大阪府生まれ。ジャーナリスト。大阪を拠点に週刊誌や月刊誌の取材を手がける。著書に『福島原発の真実 最高幹部の独白』、『私は無実です 検察と闘った厚労省官僚村木厚子の445日』(ともに朝日新聞出版)、『無法回収』(椎名麻紗枝との共著・講談社)、『内部告発—権力者に弓を引いた三人の男たち』(鹿茸社)ほか



G2 講談社
G2_kodansha

G2_kodansha G2更新しました ルポ 最晩年野村進(ノンフィクションライター) tinyurl.com/9koxzmo
about 1 hour ago · reply · retweet · favorite

G2_kodansha G2更新しました 第14回「ヒップホップの生地を歩く」新道有美 tinyurl.com/98fa8pa
2 days ago · reply · retweet · favorite

G2_kodansha G2更新しました 第3回「再上場JALは本当に『離陸』できるのか」町田徹 tinyurl.com/9zormzv
2 days ago · reply · retweet · favorite

G2_kodansha G2更新しました 第3回「津波到達までの1860秒」小野一光 tinyurl.com/9z3kdf7
2 days ago · reply · retweet · favorite